

# Worshipresses

## カスタマイズ編

初心者の主婦でも挫折せず  
カスタマイズできちゃう  
世界一やさしい参考書



## はじめに

### 【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

### 【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者ゆか (yu\_ka) に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

## 目次

はじめに.....	2
導入すべき便利なプラグイン.....	6
プラグインとは?.....	6
【Akismet】でスパムコメントをブロックしましょう.....	6
設定方法.....	6
WordPressへ設定.....	11
【WP-DBManager】でデータを自動バックアップ.....	12
【WP-DBManager】とは?.....	12
インストール方法.....	12
日本語へ言語変更.....	13
設定方法.....	15
手動でバックアップを取る.....	15
自動でバックアップを取る.....	16
バックアップの復元方法.....	18
【EWWW Image Optimizer】で画像のサイズを自動で圧縮・軽量化.....	19
【EWWW Image Optimizer】とは?.....	19
インストール方法.....	20
設定方法.....	21
既にある画像を最適化しよう.....	23
【TinyMCE Advanced】で投稿の時の入力ボタンをカスタマイズする.....	24

【TinyMCE Advanced】とは？.....	24
インストール方法.....	24
設定方法.....	25
【Category Order and Taxonomy Terms Order】でカテゴリー整理.....	28
【Category Order and Taxonomy Terms Order】とは？.....	28
インストール方法.....	28
並び替え方法.....	29
【WordPress Popular Posts】で人気記事を表示させる.....	31
【WordPress Popular Posts】とは？.....	31
インストール方法.....	31
設定方法.....	33
補足.....	37
【Table of Contents Plus】で記事の目次を作る.....	38
【Table of Contents Plus】とは？.....	38
インストール方法.....	38
設定方法.....	40
カスタマイズ方法.....	43
【Contact Form 7】でお問合せフォームを設置.....	45
【Contact Form 7】とは？.....	45
インストールする方法.....	45
設定方法.....	46
設置方法.....	49
【Q2W3 Fixed Widget】でサイドバーを追尾させる.....	49

サイドバーを追尾するってなに？ .....	50
インストールする方法 .....	50
設定方法 .....	51
【Fixed widget】 の設定 .....	53
<b>【PS Auto Sitemap】 でブログ内のサイトマップ(目次)を作る .....</b>	<b>54</b>
<b>【PS Auto Sitemap】 とは？ .....</b>	<b>54</b>
インストール方法 .....	54
設定方法 .....	55
サイトマップのページ作り .....	56
サイトマップの確認 .....	58
<b>【Google XML Sitemaps】 で検索エンジン向けのサイトマップを作る .....</b>	<b>59</b>
<b>【Google XML Sitemaps】 とは？ .....</b>	<b>59</b>
インストール方法 .....	59
基本設定 .....	60
<b>【Google Search Console (サーチコンソール)】 にサイトマップを登録する .....</b>	<b>63</b>
<b>【Google Search Console (サーチコンソール)】 とは？ .....</b>	<b>63</b>
登録方法 .....	63
FTP にファイル追加 .....	65
サーチコンソール所有権確認 .....	65
サイトマップの追加 .....	66

## 導入すべき便利なプラグイン

プラグインとは？

プラグインというのは、WordPress に様々な機能を追加することができるプログラムです。

プラグインを WordPress にインストールし、設定することで便利な機能を付け加えることができます。

ですが、導入しすぎると重くなるし、少なすぎて足りないと運営に支障がでたりしますので、なるべく最小限で本当に必要なものを導入することをおすすめします。

プラグインの導入はもちろん無料でできます。

では順番に説明していきます。

### 【Akismet】でスパムコメントをブロックしましょう

スパムとは、迷惑行為のことです。迷惑なコメントが付かないように自動的にブロックしてくれる機能があります。

コメントを記入できるように設定している方は、このプラグインは必ず入れておいた方が良いでしょう。

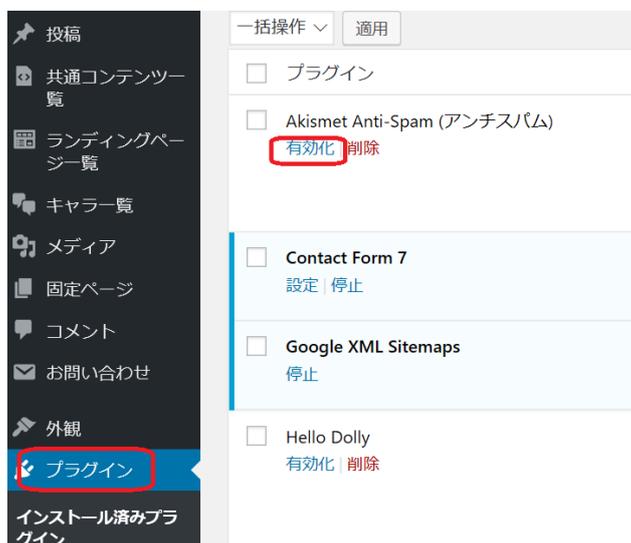
#### 設定方法

【Akismet】は WordPress に最初からインストールされています。

このプラグインを【有効化】しないと使えないので、【有効化】していきます。

WordPress の管理画面（ダッシュボード）にログインしておきます。

【プラグイン】をクリックし、画面が変わったら、【Akismet】を選び【有効化】します。



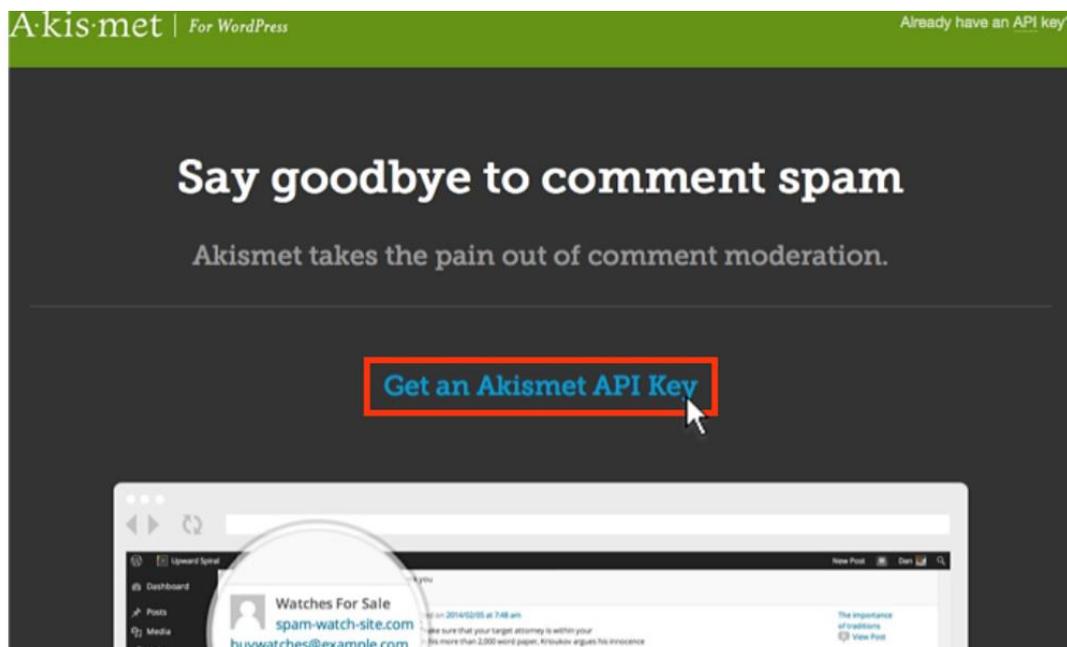
画面が切り替わりましたら、【Akismet アカウントを有効化】をクリックします。



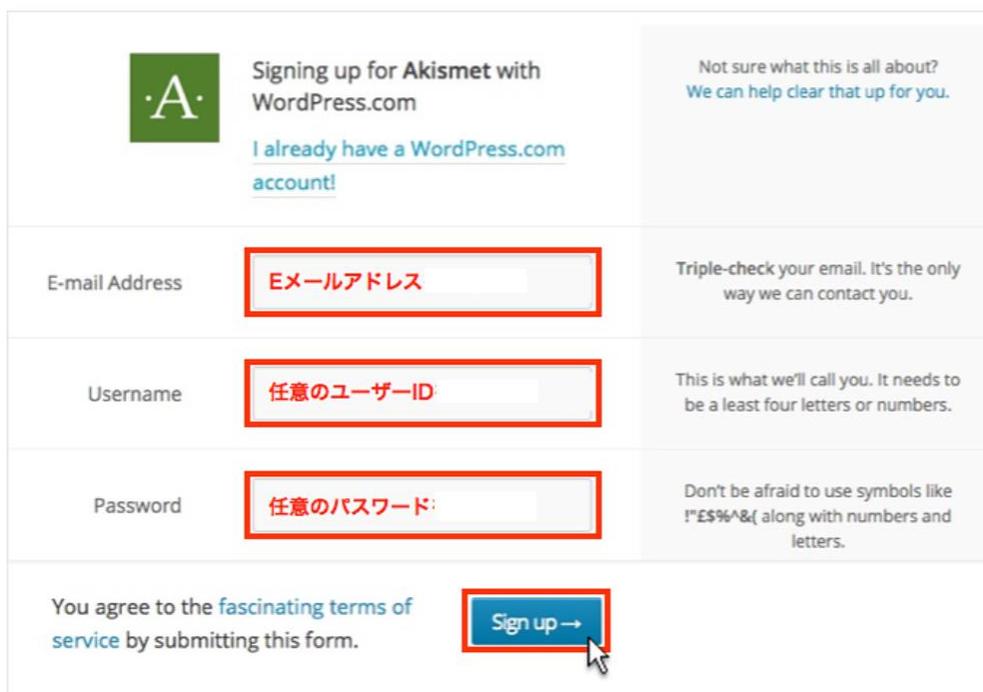
画面が切り替わりますので、【API キーを取得】をクリックします。



Akismet のサイトが表示されます。【GET AN AKISMET API KEY】をクリック。



ユーザー登録用の入力画面に切り替わります。



The image shows a registration form for Akismet with WordPress.com. It includes a logo, a title, a link for existing accounts, and three input fields: E-mail Address, Username, and Password. Each field has a red box around it with Japanese labels: 'Eメールアドレス', '任意のユーザーID', and '任意のパスワード'. A 'Sign up →' button is also highlighted with a red box and a mouse cursor. To the right of each field is a short instruction. At the bottom left, there is a checkbox for terms of service.

	Signing up for Akismet with WordPress.com <a href="#">I already have a WordPress.com account!</a>	Not sure what this is all about? We can help clear that up for you.
E-mail Address	<input type="text" value="Eメールアドレス"/>	Triple-check your email. It's the only way we can contact you.
Username	<input type="text" value="任意のユーザーID"/>	This is what we'll call you. It needs to be a least four letters or numbers.
Password	<input type="password" value="任意のパスワード"/>	Don't be afraid to use symbols like !"£\$%^&() along with numbers and letters.
You agree to the <a href="#">fascinating terms of service</a> by submitting this form.		<input type="button" value="Sign up →"/>

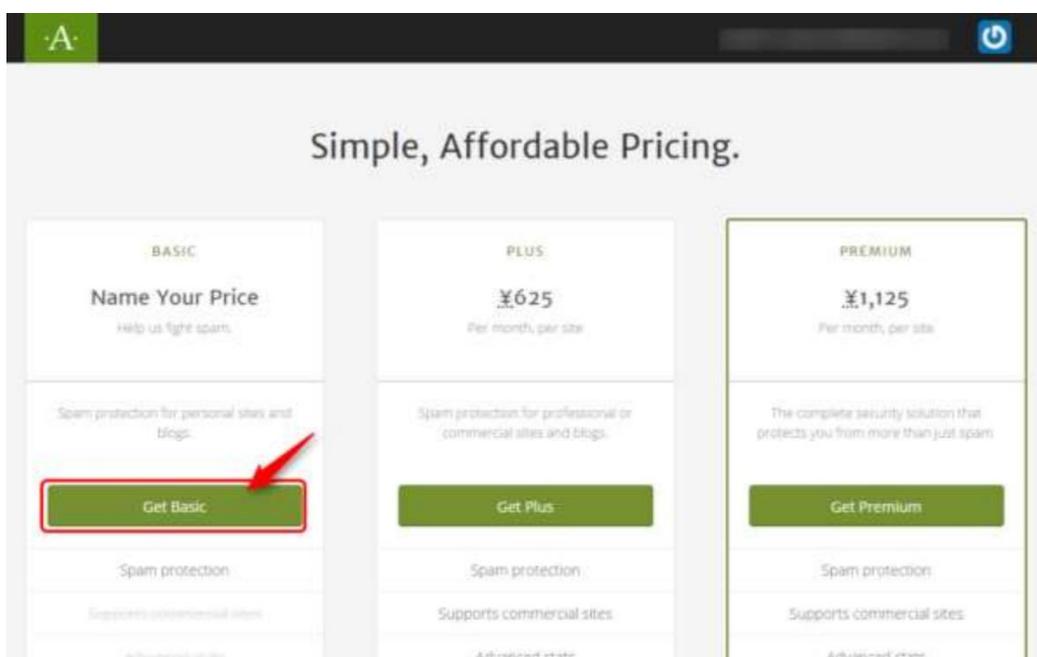
【メールアドレス】

【ユーザー名】 最短 4 文字の半角英数字のみ

【パスワード】 6 文字以上で半角英数字と記号（英字の大文字小文字の区別あり）

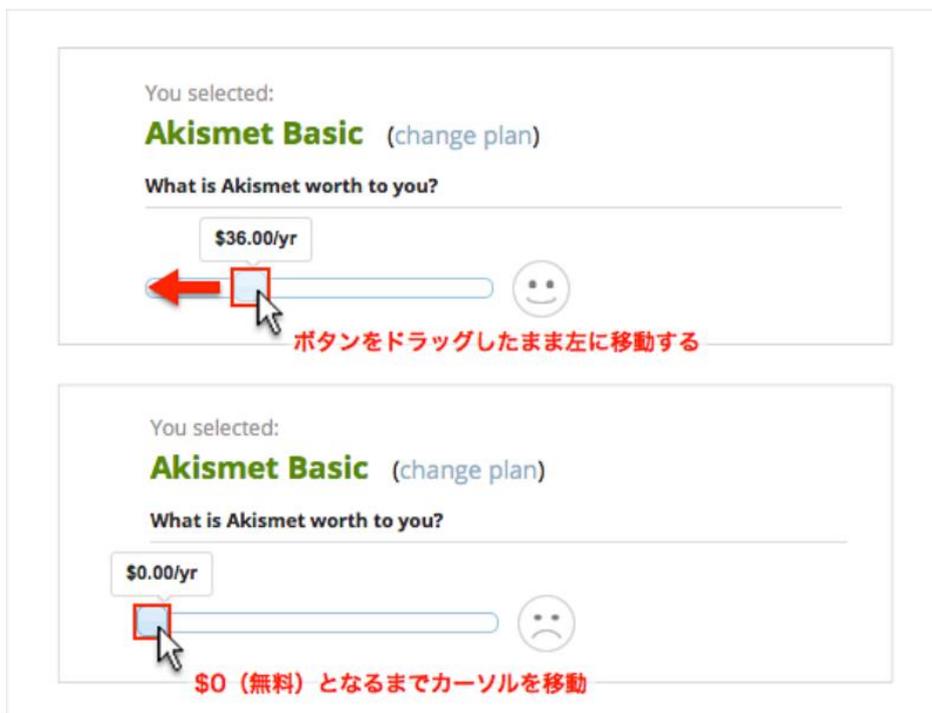
すべての入力ができたら、【Sign up→】をクリックします。

下図のような画面が表示されますので、一番左の【Get Basic】をクリックします。

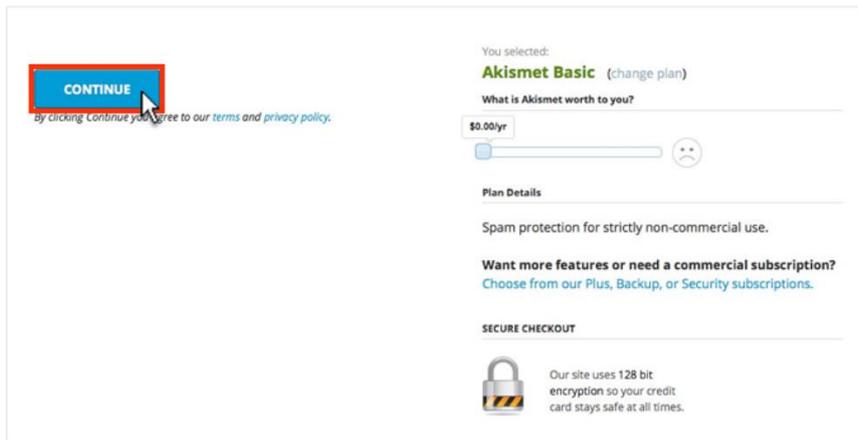


画面が切り替わります。

赤枠の部分を下図のようにスライドさせて『0』にしてください

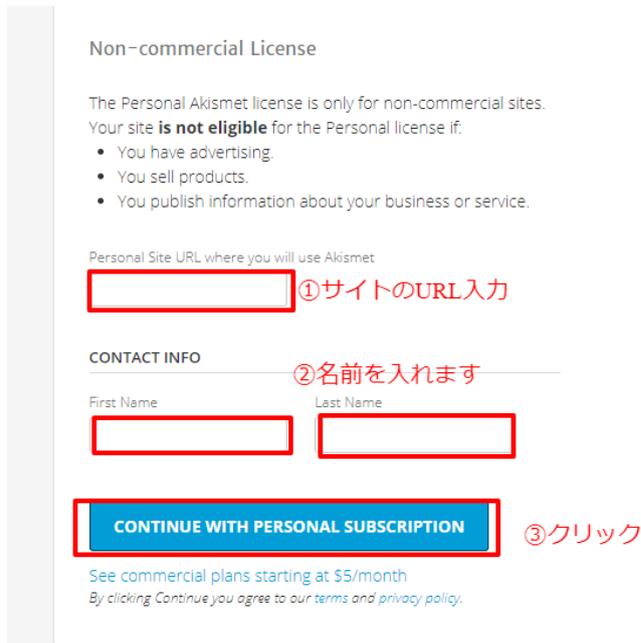


左側の画面が変わりますので、【CONTINUE】をクリックすると API キーが取得できます。

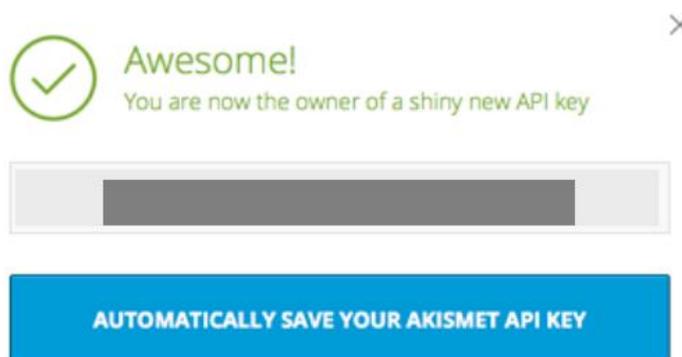


※現在は上記のような表示ではなく、下記図のような感じになっています。

必ず☑を入れないといけない確認項目（下図には載っていません）①サイト URL・②FirstName(上の名前)・LastName(下の名前)を入力し【CONTINUE WITH PERSONAL SUBSCRIPTION】をクリックします。



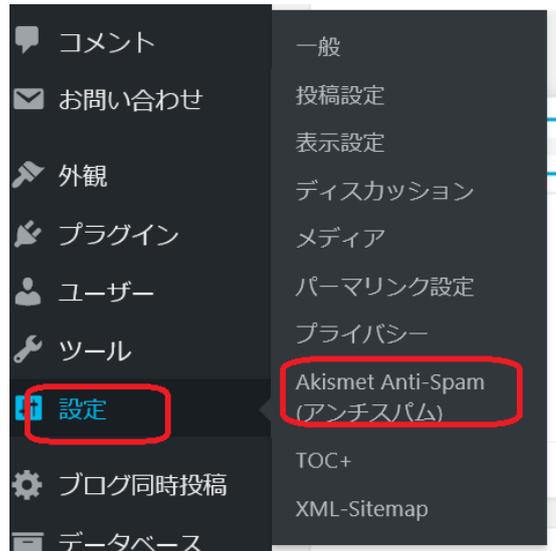
これで API キーの取得ができました。



取得した API キーは、次の作業で必要になりますので、しっかりコピーしておいてください。

## WordPress へ設定

WordPress のダッシュボードから【設定】にマウスを合わせて、【Akismet Anti-Spam】をクリックします。



画面が切り替わりますので【API キーを入力する】に先ほど取得した API キーを貼り付け、【API キーを使って接続する】をクリックします。



下記画面に切り替わりますので、設定をします。【スパムを常にスパムフォルダーに振り分けレビューする】にチェックを入れて、【変更を保存】をクリックして完了です。



## 【WP-DBManager】でデータを自動バックアップ

### 【WP-DBManager】とは？

WordPress でサイトを作っていると、突然投稿した記事が消えていたなどのトラブルが起こります。

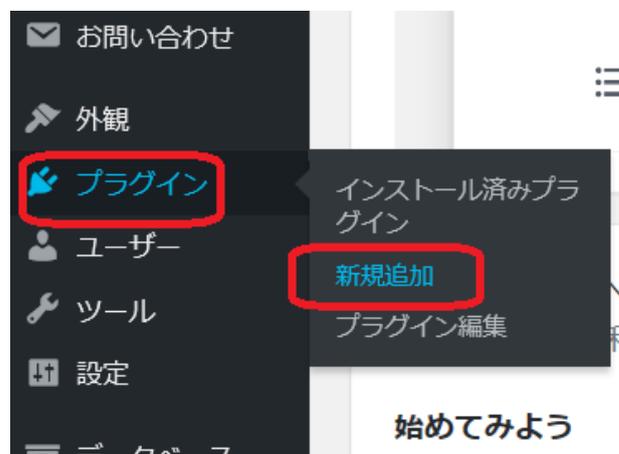
WordPress ではトラブルはつきものなので、しっかりとバックアップをとることが重要になります。

そのバックアップを取る方法の一つに、プラグインの【WP-DBManager】があります。

【WP-DBManager】は、定期的に自動でデータベースのバックアップを取ってくれるプラグインになります。

### インストール方法

WordPress のダッシュボードの画面より、左メニューの【プラグイン】にマウスを合わせて【新規追加】をクリックします。



画面が切り替わるので、右上の【プラグインの検索】にプラグイン名（WP-DBManager）を入力します。



検索結果に【WP-DBManager】が表示されます。



【今すぐインストール】をクリックします。



 **WP-DBManager** 今すぐインストール

WordPress データベースを管理します。 [詳細情報](#)

作成者: Lester 'GaMerZ' Chan

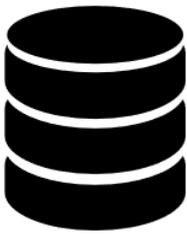
★★★★☆ (81) 最終更新: 11か月前

有効インストール数: 100,000+ ✓ 使用中の WordPress バージョンと互換性あり

しばらくしたら【有効化】に変わりますので、クリックします。

※有効化をクリックしないと、導入したプラグインは機能しません。



 **WP-DBManager** 有効化

WordPress データベースを管理します。 [詳細情報](#)

作成者: Lester 'GaMerZ' Chan

★★★★☆ (81) 最終更新: 11か月前

有効インストール数: 100,000+ ✓ 使用中の WordPress バージョンと互換性あり

画面が切り替わり、【プラグインを有効化しました】と表示されれば完了です。

## 日本語へ言語変更

インストールした時は、英語表記になっているので、最初に日本語表記に変更します。設定の前にやっておきましょう。

プラグインの画面から【WP-DBManager】をさがして、【詳細を表示】をクリックします。



WP-DBManager 停止

Manages your WordPress database. Allows you to optimize database, repair database, backup database, restore database, delete backup database, drop/empty tables and run selected queries. Supports automatic scheduling of backing up, optimizing and repairing of database.

バージョン 2.79.1 | 作成者: Lester 'GaMerZ' Chan 詳細を表示

画面が切り替わりますので、下へスクロールし、【翻訳】の URL をクリックします。

### ビルドの状況

### 開発

- <https://github.com/lesterchan/wp-dbmanager>

### 翻訳

- <http://dev.wp-plugins.org/browser/wp-dbmanager/i18n/>

### クレジット

- Plugin icon by [Freepik](#) from [Flaticon](#)

下図のような画面が別で開きます。

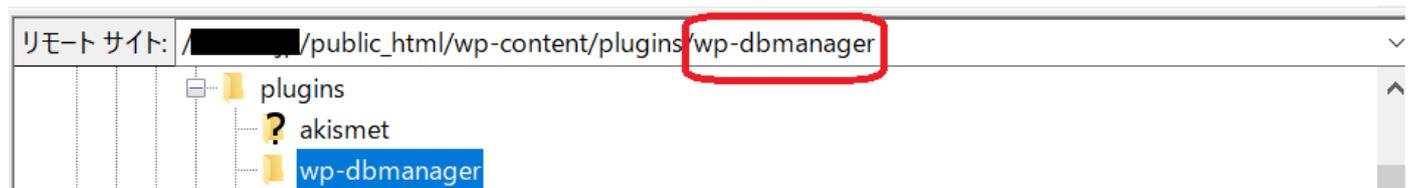
wp-dbmanager-de_DE.po	27.1 KB	977548	4 years	GamerZ	Update all translation. Props Massimiliano
wp-dbmanager-fa_IR.mo	22.5 KB	977548	4 years	GamerZ	Update all translation. Props Massimiliano
wp-dbmanager-fa_IR.po	32.4 KB	977548	4 years	GamerZ	Update all translation. Props Massimiliano
wp-dbmanager-fr_FR.mo	19.4 KB	977548	4 years	GamerZ	Update all translation. Props Massimiliano
wp-dbmanager-fr_FR.po	28.7 KB	977548	4 years	GamerZ	Update all translation. Props Massimiliano
wp-dbmanager-hu_HU.mo	18.6 KB	1020132	4 years	GamerZ	Add WP-DBManager
wp-dbmanager-hu_HU.po	25.2 KB	1020132	4 years	GamerZ	Add WP-DBManager
wp-dbmanager-it_IT.mo	18.1 KB	977548	4 years	GamerZ	Update all translation. Props Massimiliano
wp-dbmanager-it_IT.po	27.2 KB	977548	4 years	GamerZ	Update all translation. Props Massimiliano
wp-dbmanager-ja.mo	20.2 KB	977548	4 years	GamerZ	Update all translation. Props Massimiliano
wp-dbmanager-ja.po	49.3 KB	977548	4 years	GamerZ	Update all translation. Props Massimiliano
wp-dbmanager-pl_PL.mo	17.8 KB	977548	4 years	GamerZ	Update all translation. Props Massimiliano
wp-dbmanager-pl_PL.po	27.1 KB	977548	4 years	GamerZ	Update all translation. Props Massimiliano

### 【wp-dbmanager-ja.mo】 【wp-dbmanager-ja.po】

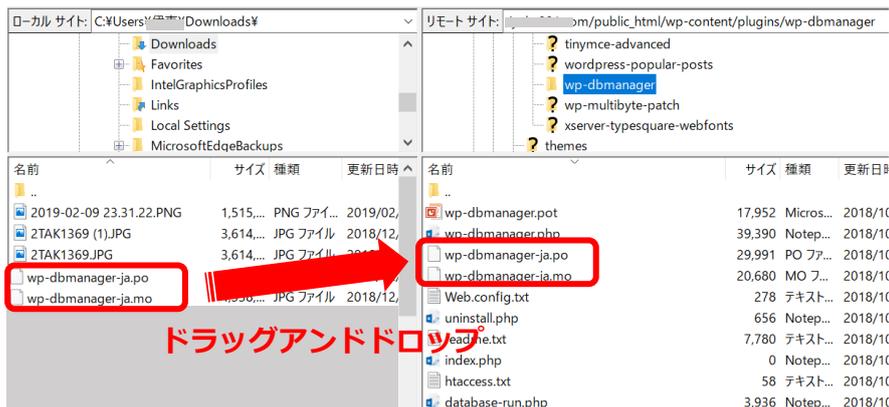
この二つをみつけてダウンロードします。（右の下矢印↓をクリックするとダウンロードします。）

そして、この2つのダウンロードファイルを FileZilla を起動してサーバーにアップロードしていきます。

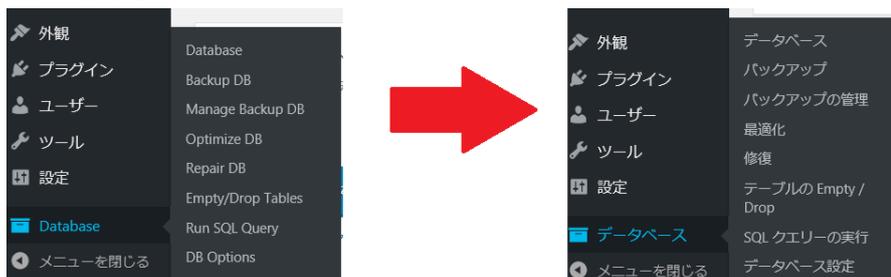
右側のリモートサイトから自分のサイトドメイン→public\_html→wp-content→plugins→wp-dbmanager を開きます。



FTP ファイルの/**wp-dbmanager** にダウンロードしたフォルダから、ドラッグアンドドロップで【wp-dbmanager-ja.mo】 【wp-dbmanager-ja.po】を挿入すると日本語表記になります。



これで日本語表記になりました。



## 設定方法

【WP-DBmanager】では、バックアップデータの保存方法として、2つあります。

1つめは、指定したメールアドレスへ添付ファイルとして送信する方法です。

2つめは、指定したサーバーのディレクトリ(フォルダ) に保存する方法です。

### 手動でバックアップを取る

導入したら、試しに手動でバックアップを取ってみてください。

ダッシュボードの画面より【データベース】にマウスを合わせて【バックアップ】をクリックします。

クリックするとバックアップ状況が書かれたページが開きますので、下へスクロールしてください。



スクロールすると、上記のような画面になりますので、【GZIP 圧縮】の項目のみ【する】を選択し、【バックアップ】をクリックします。



これでバックアップファイルが作られました。

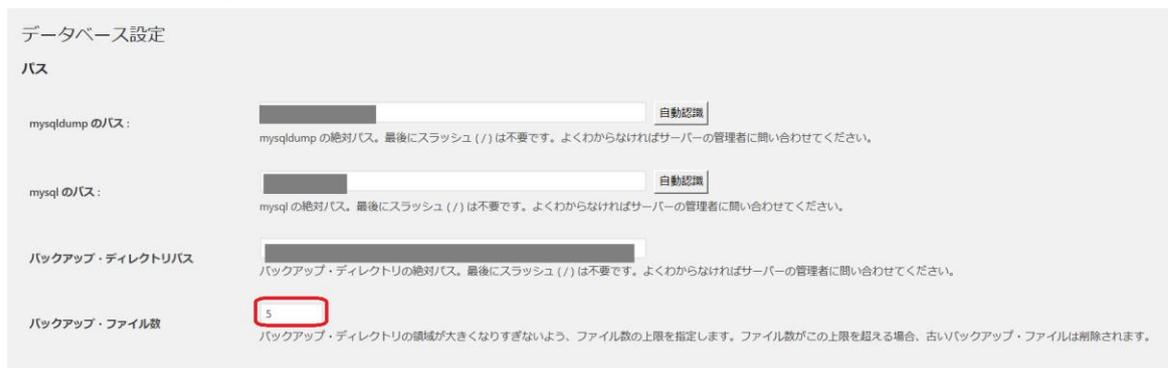
### 自動でバックアップを取る

何日おきに自動でバックアップをとるか、といった事をあらかじめ設定し自動で定期的にバックアップをする方法です。

ダッシュボードの画面から左メニューの【データベース】にマウスを合わせて【データベース設定】をクリックします。



データベース設定の画面へと切り替わります。



【バックアップ・ファイル数】という項目を設定します。デフォルトでは10になっていますが、5くらいが良いです。あまり多すぎるとサイトが重くなってしまいますので、少ない方がいいと思います。

次に下へスクロールします。

【自動定期実行】という設定がありますので、【データベース・バックアップの自動実行】を何日ごとに行うかを決めます。

毎日に近い頻度で更新するなら **1日1回**、**週1回程度の更新なら週1回**…みたいなイメージで設定されると良いかと思います。

GZIP圧縮というのは、バックアップデータサイズを小さくして保存するかどうかの設定ですので、【**する**】を選択しましょう。

自動定期実行

データベース・バックアップの自動実行: 次のバックアップ予定日時: 2018年11月1日 2:03 AM  
月ごと 1 日ごと GZIP圧縮 する

WP-DBManager は、データベース・バックアップを定期的に自動実行することができます。

データベース最適化の自動実行: 次の最適化予定日時2018年10月29日 2:03 AM  
月ごと 3 日ごと

WP-DBManager は、データベースの最適化を定期的に自動実行することができます。

データベース最適化の自動実行: 次の最適化予定日時2018年11月8日 2:03 AM  
月ごと 2 週ごと

WP-DBManager は、データベースの最適化を定期的に自動実行することができます。

そしてさらにスクロールします。

【データベース設定】という設定があります。

バックアップ情報をメールで送信するときの宛先・件名が表示されています。

(メールの送信を受けたくないときは、上の赤枠のメールアドレスを消してくださいね。)

最後に【**変更を保存**】をクリックして自動バックアップの設定は完了です。

データベース設定

へ: (送信しない場合は空白)

から: (デフォルトを使用する場合は空白のまま)

件名: (デフォルトを使用する場合は空白のまま)

その他のオプション

管理者の非通知  する  しない

変更の保存

これで自動バックアップができるので、安心です。

### 【補足】

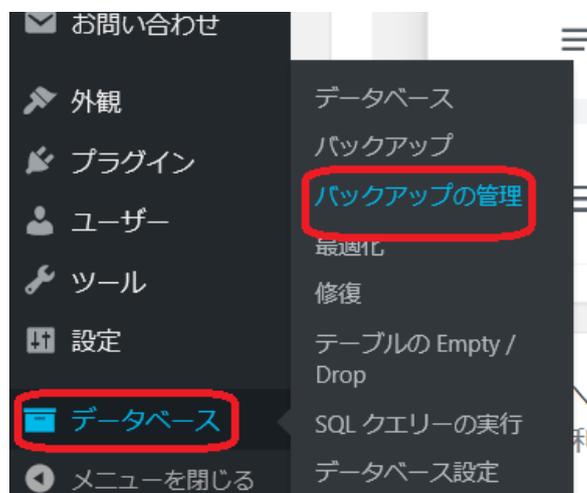
バックアップファイルの送信先のアドレスによっては、バックアップファイルが添付されたメールが「迷惑メールフォルダ」に入ってしまうことがあります。

設定後にメールが受信されないときは、迷惑メールフォルダを探して、受信トレイに入るように設定してください。

### バックアップの復元方法

バックアップしたファイルを復元してみましょう。

ダッシュボードの画面から左メニューの【データベース】にマウスを合わせて【バックアップの管理】をクリックします。



【バックアップの管理】の画面が開きます。



【バックアップの管理画面】には、それまでにバックアップしたデータが上から新しい順に並んでいます。

- ・バックアップした復元したいデータを【選択】します。（上から順番に新しいものになっています。）
- ・【リストア（復元）】をクリックします。

すると下記のような画面が表示されます。



「データベースを復元しようとしています。復元すると復元した時点以降に行われた変更はなかったことになり、元にはもどせません。」という確認のメッセージが表示されますので、【OK】をクリックします。

これでデータの復元が完了しました。

## 【EWWW Image Optimizer】で画像のサイズを自動で圧縮・軽量化

### 【EWWW Image Optimizer】とは？

サイトにアップした画像を自動で圧縮してくれる便利なプラグインです。

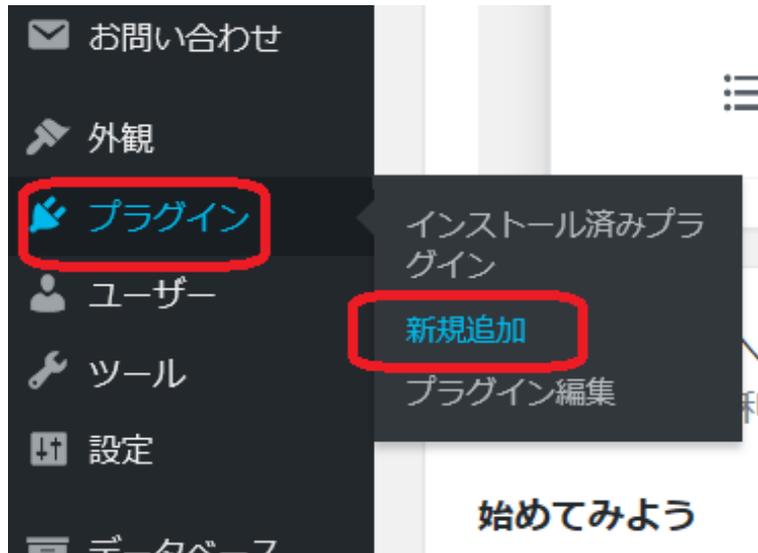
画像サイズが大きいとサイトの表示速度が遅くなり、せっかく訪問してくれた読者さんの離脱につながります。

読者さんが快適に閲覧できるように導入しておくことをオススメします。

また SEO 的にも、表示速度が速い方が、評価アップにつながりますので、必須のプラグインになります。

インストール方法

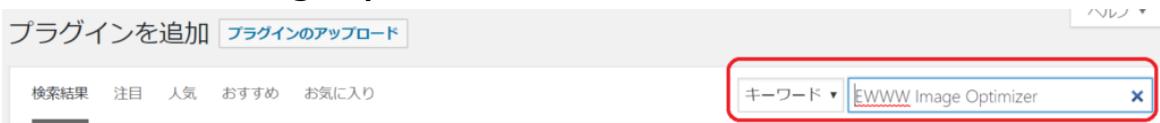
WordPress のダッシュボードの画面の左メニューの【プラグイン】にマウスを合わせて、【新規追加】をクリックします。



【プラグインを追加】の画面に切り替わりましたら、プラグインの検索（EWWW Image Optimizer）を入力します。



検索結果の中に【EWWW Image Optimizer】が表示されます。



【今すぐインストール】をクリックします。



インストールが完了したら【有効化】をクリックします。



画面が切り替わり、【プラグインを有効化しました】という表示がでたらインストールは完了になります。

### 設定方法

ダッシュボード画面の左メニューの【設定】にマウスを合わせて【EWWW Image Optimizer】をクリックします。



設定画面に切り替わります。

**Bacic**…基本の設定になります。



ここでは【**Remove Metadata**】にのみチェックがはいつているのかを確認してください。

※メタデータとは…画像に組み込まれた撮影日時や撮影場所などの情報です。メタデータを削除することで、画像データを軽くすることが出来るのと同時に、写真の撮影場所やカメラ設定などから個人情報が流出するのを防ぐ効果もあります。

**Convert**…変換設定になります。



ここでは、【**コンバージョンリンクを非表示**】にチェックを入れておきます。

※EWWW Image Optimizer には、【png】を【jpg】に変換したり、【jpg】を【png】に変換する機能があります。

ここにチェックを入れておかないと、自動で勝手に変換が行われたり、そのために画質が悪くなってしまうたり、フォルダ内の画像がやたらと増えてしまう事があります。

以上の設定が完了したら、【**変更を保存**】をクリックします。

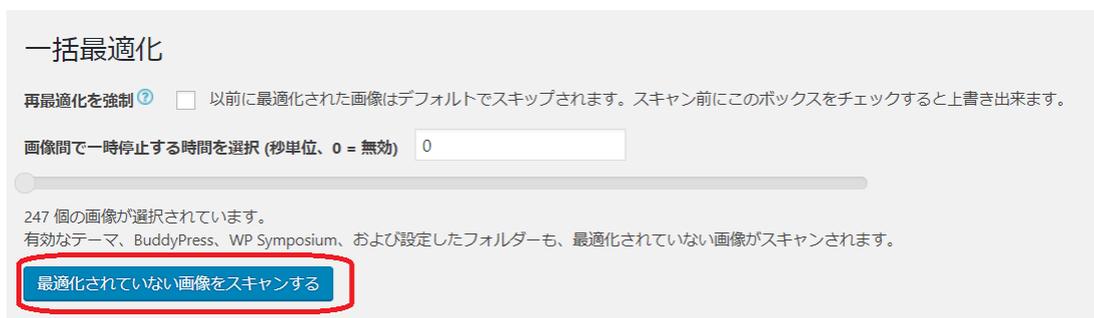
既にある画像を最適化しよう

インストールして、設定が終わったら、既にアップロードしてある画像がある場合は、手動で圧縮する必要があります。

ダッシュボード画面から左メニューの【メディア】にマウスを合わせて【一括最適化】をクリックします。



【一括最適化】の画面に切り替わりましたら、【最適化されていない画像をスキャンする】をクリックします。



下の図のように、まだ圧縮されていない画像が検出されました。



【最適化を開始】をクリックします。画像の数で時間がかかることがありますが、最適化されるのを待ちましょう。

【完了】という表示がでたら最適化できました。

※最適化する画像が無い、または既に全て最適化されている場合は【最適化するための画像がありません】と表示されます。

※補足※

EWWW Image Optimizer を導入した後にアップロードする画像は、全て自動で圧縮されるのですが、インストールして設定した直後は、まず【一括最適化】をするようにしてください。

一度、最適化すれば、この作業は必要ありません。あとは、自動的に画像を圧縮してくれるようになります。

## 【TinyMCE Advanced】で投稿の時の入力ボタンをカスタマイズする

### 【TinyMCE Advanced】とは？

WordPress の初期の投稿機能には、投稿するときに足りない機能があります。

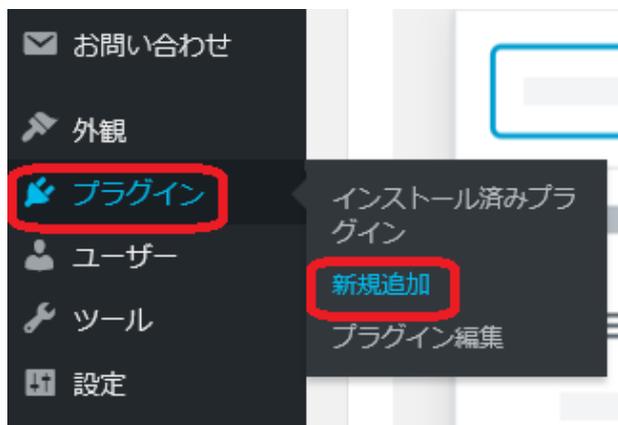
例えば、表の挿入、YouTube 動画コードの挿入などがありません。

もし、入力したいときは、テキストモードでタグ打ちしたりする必要があります。

このプラグイン【TinyMCE Advanced】というのは、WordPress の投稿画面の編集ボタンをカスタマイズしたり、タグ打ちしなくても簡単に表を挿入したりすることができるのです。

### インストール方法

ダッシュボード画面の左メニューの【プラグイン】にマウスを合わせて【新規追加】をクリックします。



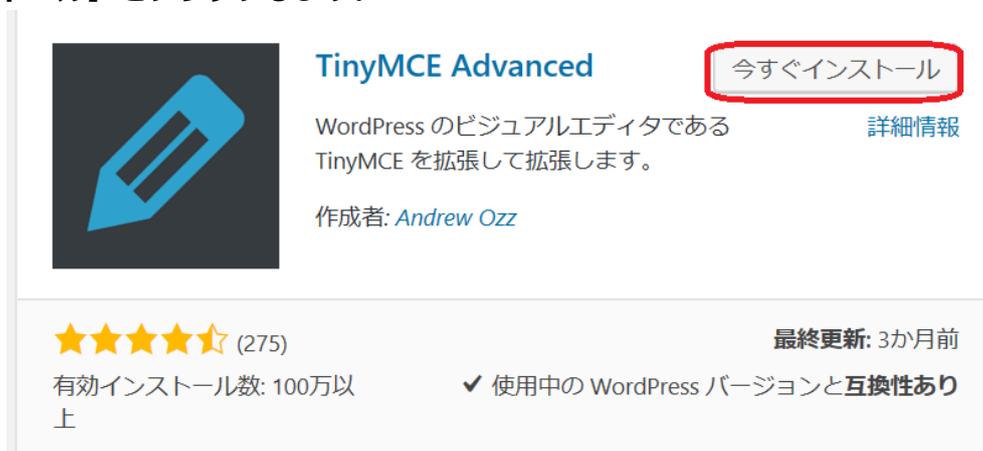
画面が切り替わるので、右上の【プラグインの検索】にプラグイン名 (TinyMCE Advanced) を入力します。



検索結果に【TinyMCE Advanced】が表示されます。



【今すぐインストール】をクリックします。



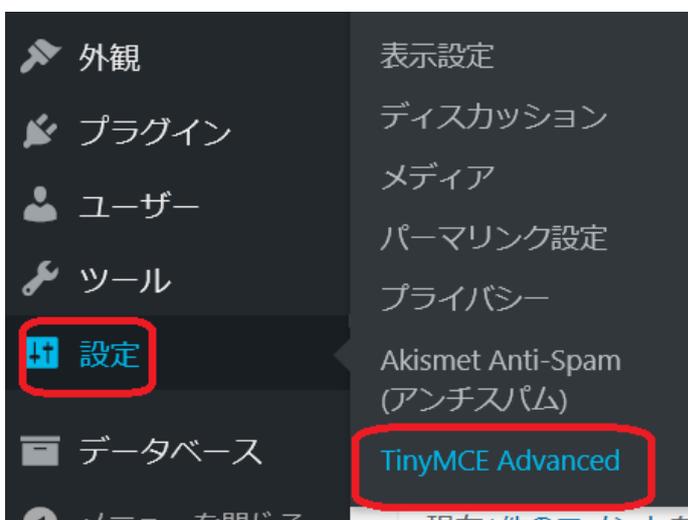
画面が切り替わりますので【有効化】をクリックします。

※有効化をクリックしないと、導入したプラグインは機能しません。

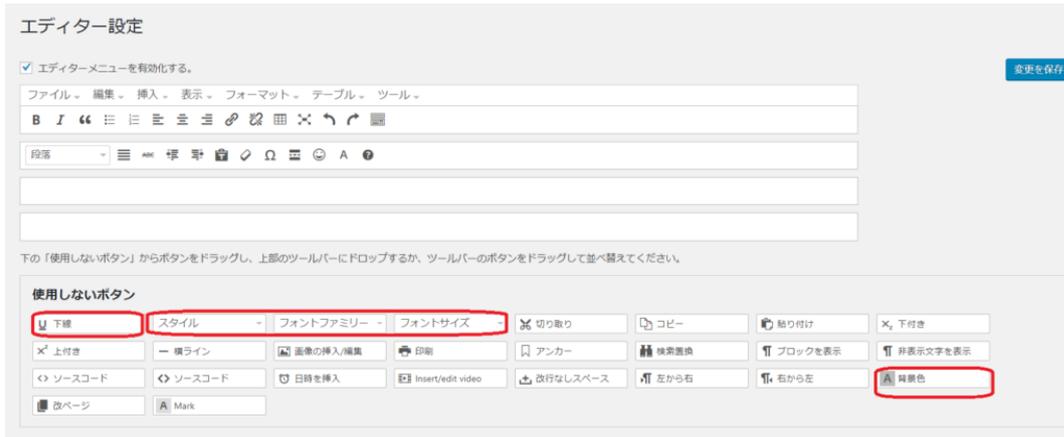
画面が切り替わり、【プラグインを有効化しました】と表示されればインストールは完了です。

### 設定方法

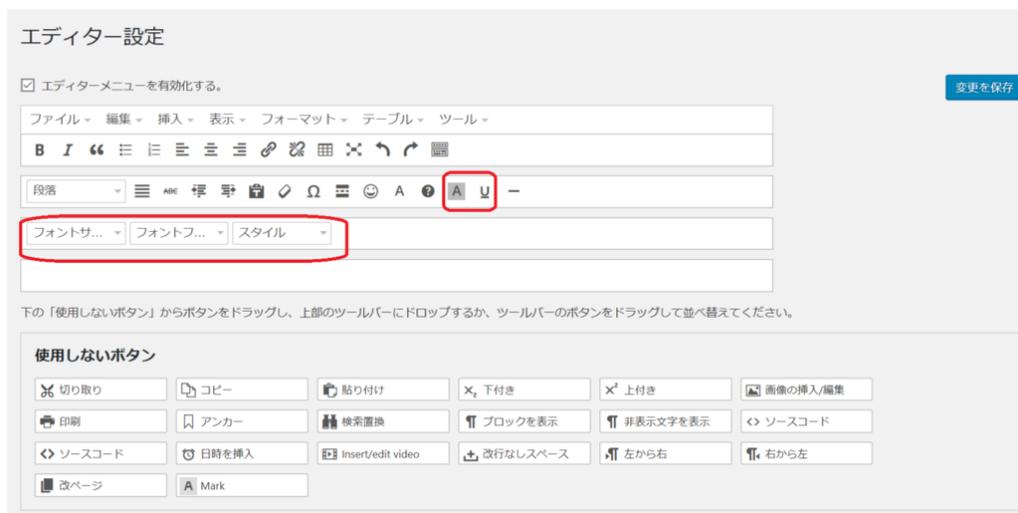
ダッシュボード画面の左メニューの【設定】にマウスを合わせて【TinyMCE Advanced】をクリックします。



下図の【**エディター設定**】の画面に切り替わります。



使用しないボタンの中から追加したいボタンを見つけてドラッグアンドドロップで追加します。



わたしは、【**スタイル**】【**フォントサイズ**】【**フォントファミリー**】【**背景色**】【**下線**】【**横ライン**】を追加しました。

下へスクロールしていくと、【**設定**】がありますので、下記2つにチェックを入れてください。

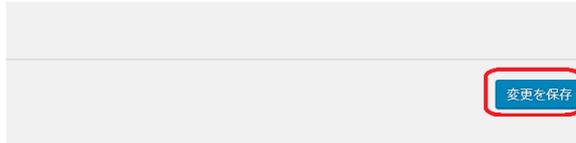


・ **フォントサイズ**にチェックすると、フォントサイズの単位を px（ピクセル）に変更できます。

（ブログは PC やスマートフォンの画面を中心に表示するものなので、その画面表示に適した px を選ぶとよいですよ。）

・ **段落タグの保持**にチェックすると、記事編集時の不具合を抑えることができます。

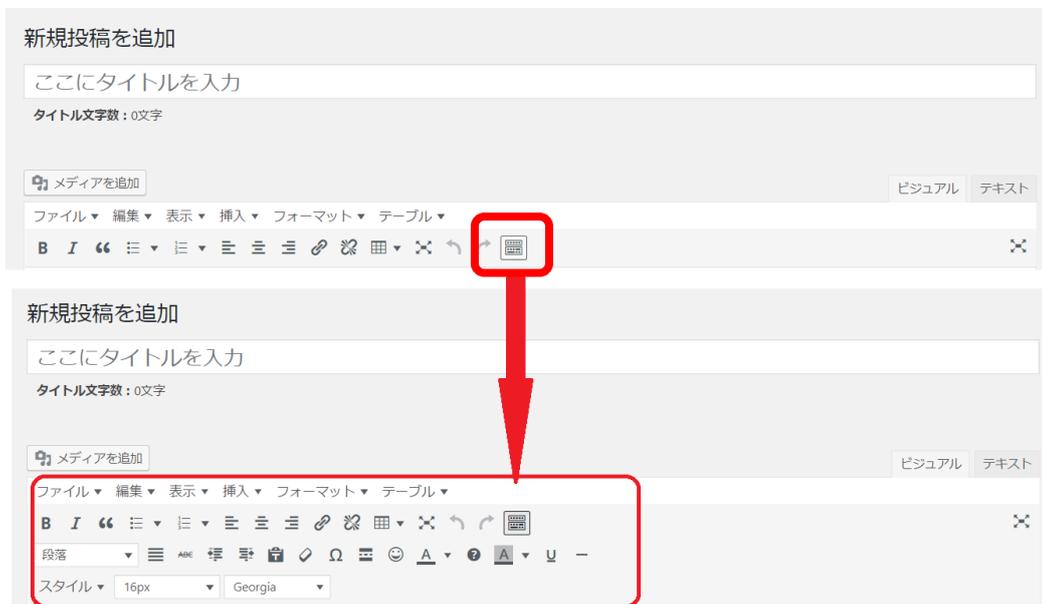
さらに下へスクロールして、右端の **【変更を保存】** で設定は完了します。



### ※補足※

最初に使うときはアイコンが隠れています。

下図のようにツールバーの切り替えをクリックすることで、**隠れたツールバー**が表示されます。



**【TinyMCE Advanced】** のプラグインを導入し、記事を入力するときの時短につなげてください。

## 【Category Order and Taxonomy Terms Order】でカテゴリー整理

### 【Category Order and Taxonomy Terms Order】とは？

カテゴリーは、左バーとか右バーとかに設置するようなもので、内容ごとによりやすく分けるものになります。

投稿記事が増えるとカテゴリーも増えていきます。

カテゴリーが増え、カテゴリーの並びがバラバラだとサイトを見に来てくれた方が、見たい情報を効率的に探せなくなったりします。

カテゴリーの順番を分かりやすくまとめることで、サイトを見ている方も見やすくなります。

【Category Order and Taxonomy Terms Order】プラグインを導入すると、カテゴリーの並べ替えが自由自在にできます。

### インストール方法

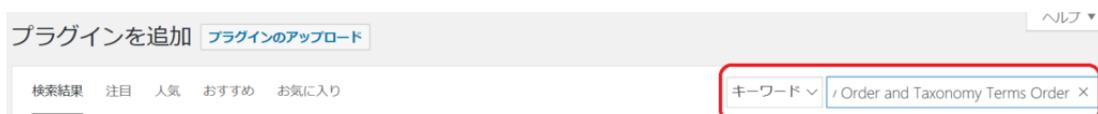
WordPress のダッシュボードの画面から【プラグイン】にマウスを合わせて【新規追加】をクリックします。



プラグインの追加の画面に切り替わりますので、【プラグインの検索】にプラグイン名 (Category Order and Taxonomy Terms Order) を入力します。



検索結果に【Category Order and Taxonomy Terms Order】が表示されます。



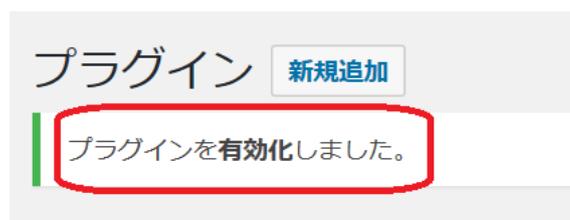
【今すぐインストール】をクリックします。



画面が切り替わりますので【有効化】をクリックします。



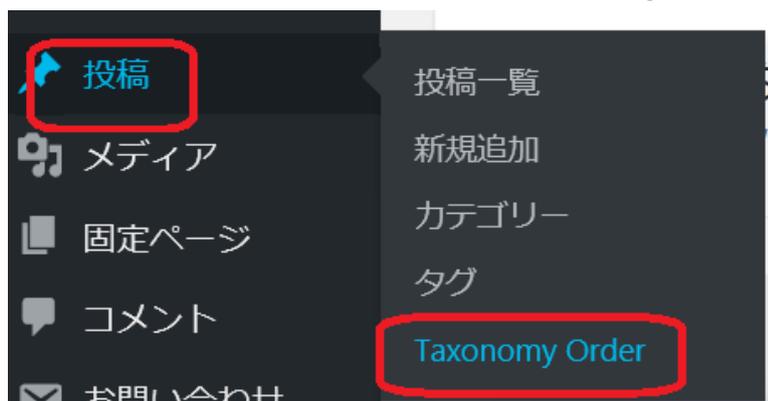
この画面に切り替わりましたら、インストール完了です。



### 並び替え方法

インストールが完了しましたら、カテゴリーを並べ替えていきます。

ダッシュボードの画面から【投稿】にマウスを合わせて【Taxonomy Order】をクリックします。



下図の画面に切り替わり、作成したカテゴリーがすべて表示されます。



移動したいカテゴリーをマウスの左クリックを押しながら、移動した場所へ（ドラッグ&ドロップ）させます。



ドラッグ&ドロップで並べ替えができましたら、【更新】をクリックします。



これで並べ替えが完了しました。

## 【WordPress Popular Posts】で人気記事を表示させる

### 【WordPress Popular Posts】とは？

WordPress の自分のサイト内でよく読まれている記事をサイドバーに表示させることが出来るプラグインです。

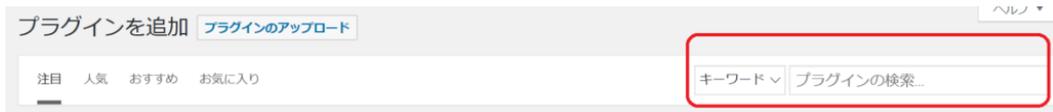
サイドバーに表示があることで、人気記事にも興味を持ってもらえ、サイト内の滞在時間を伸ばすことにもつながります。

### インストール方法

WordPress のダッシュボードの画面から【プラグイン】にマウスを合わせて【新規追加】をクリックします。



プラグインの追加の画面に切り替わりますので【**プラグインの検索**】にプラグイン名（WordPress Popular Posts）を入力します。



検索結果に【**WordPress Popular Posts**】が表示されます。



【**今すぐインストール**】をクリックします。



画面が切り替わりますので【**有効化**】をクリックします。

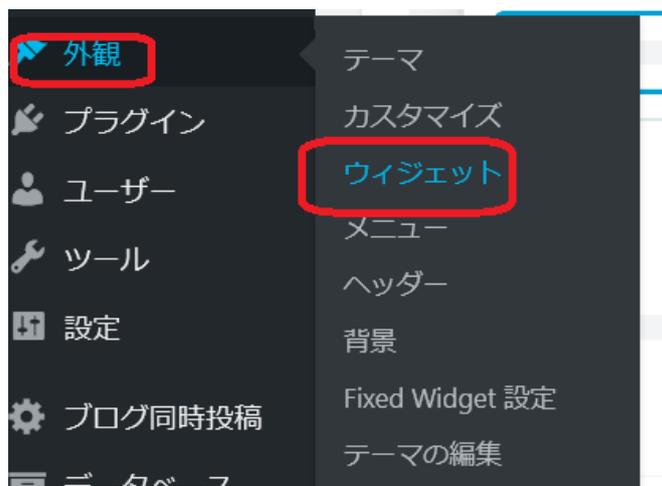


この画面に切り替わりましたら、インストール完了です。



設定方法

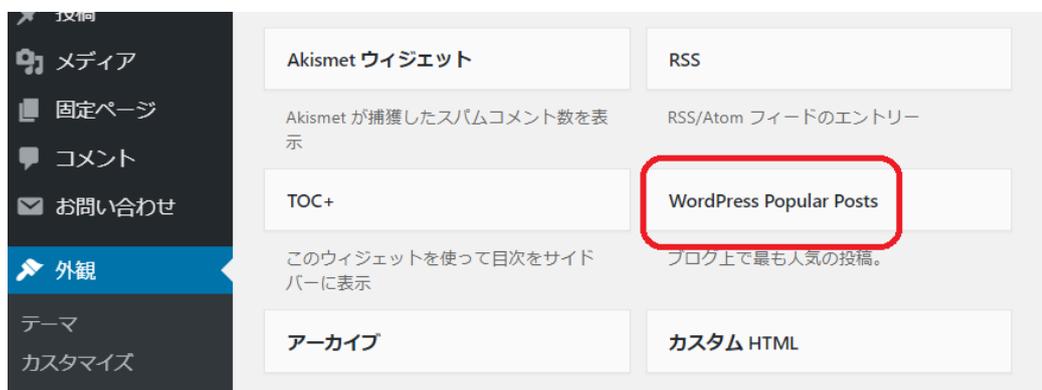
ダッシュボードから【外観】にマウスを合わせて【ウィジェット】をクリックします。



ウィジェットの画面が開きます。



【利用できるウィジェット】の中に【WordPress Popular Posts】があるのでそちらをクリックします。

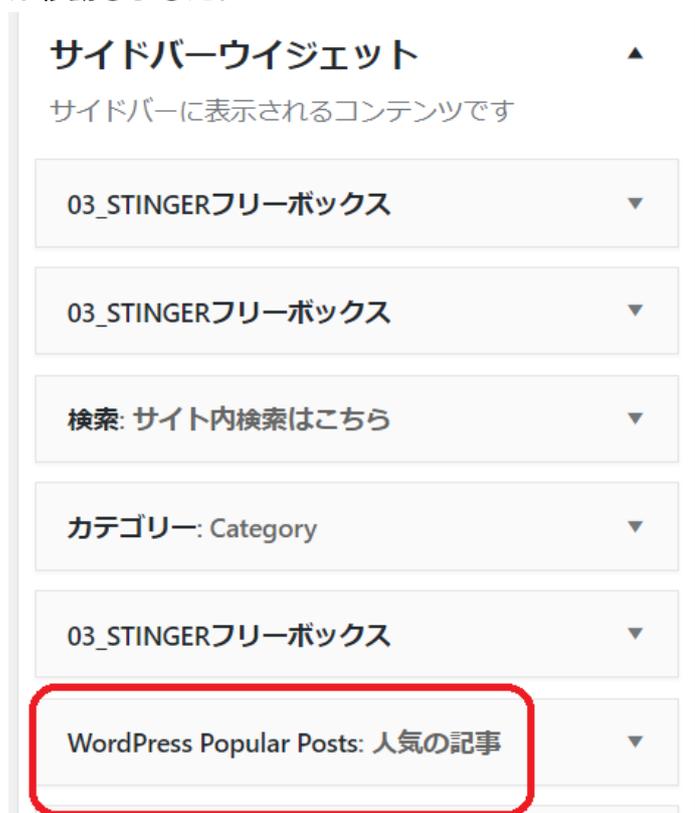


このウィジェットをクリックすると、設定できる場所が表示されますので【サイドバートップ（ウィジェット）】を選択し【ウィジェットを追加】をクリックします。

※テーマによって表示画面が違います。



これでサイドバーに人気記事が移動しました。



次にウィジェットの設定を変えていきます。

### WordPress Popular Posts: 人気の記事 ▲

タイトル: ⓘ

人気の記事

最大表示数:

5 件の投稿があります

ソート順:

総閲覧数 ▼

### フィルター

計測期間:

過去24時間 ▼

選択期間内に公開された投稿のみを表示

投稿タイプ: ⓘ

post

除外する投稿 ID:

タクソノミー: ⓘ

カテゴリー

タグ

### 基本設定

・タイトル：サイドバーの見出しになります。

『人気記事』とかが一般的な見出しになりますね。

・最大表示数：記事をいくつ表示するかを選択できます。

5～10 くらいが良いかと思います。

・ソート順：ランキングの決め方。

『コメント』 コメント数が多い記事

『総閲覧数』 ページビュー数が多い記事

『ページビュー』 一日の平均ページビュー数が多い記事

### フィルター

・計測期間：集計の対象期間を設定します。「過去 24 時間」、「過去 7 日間」、「過去 30 日間」、「全期間」があります。

・投稿タイプ：投稿タイプの設定をします。「post (投稿記事), page (固定ページ)」となっていると思います。

固定ページは表示する必要がない人は「post」のみでいいです。

・除外する投稿：特定の記事を除外したい場合に投稿 ID を入力します。（投稿 ID の見方は補足にて）

・タクソノミー：特定の 카테고리 を除外したい場合に、カテゴリーにチェックをし、ID を入力します。または、タグに対してもチェックすると除外することができます。

## 投稿設定

- タイトルを短縮
- 抜粋を表示
- アイキャッチ画像を表示

### 既定のサイズから選ぶ

thumbnail (150 x 150, hard crop) ▼

### サイズを手動で指定

幅: 150 px

高さ: 150 px

## 統計タグの設定

- コメント数を表示
- 閲覧数を表示
- 投稿者を表示
- 日付を表示
- タクソノミーを表示

## HTML マークアップ設定

カスタム HTML マークアップを使う 

Fixed widget

[削除](#)

**保存**

## 投稿設定

サイドバーでの表示方法になります。見た目ですね。

・タイトルを短縮：記事のタイトルの長さを指定した長さまでにします。

・抜粋を表示：抜粋文（記事の内容の一部）を表示するかしないかを選択できます。

・アイキャッチ画像を表示：記事のサムネイル画像を表示するのかわらないかを選択します。

アイキャッチ画像を表示するように選択したら、サイズを指定します。お好みのサイズに変更してみてください。

オススメは、thumbnail  
(150×150)

## 統計タグの設定

コメント数を表示

閲覧数を表示

投稿者を表示

日付を表示

タクソノミーを表示

上記のものを表示したいようであれば、チェックを入れると表示されます。表示したくなければ、チェックを外してください。

## HTML マークアップ設定

チェックを入れると HTML のマークアップをカスタマイズできるようになります。普通は使う機会はありません。

これですべての設定は終わりましたので **【保存】** をクリックします。

補足

**投稿 ID の確認の方法**

ダッシュボードの画面から【**投稿一覧**】を表示します。

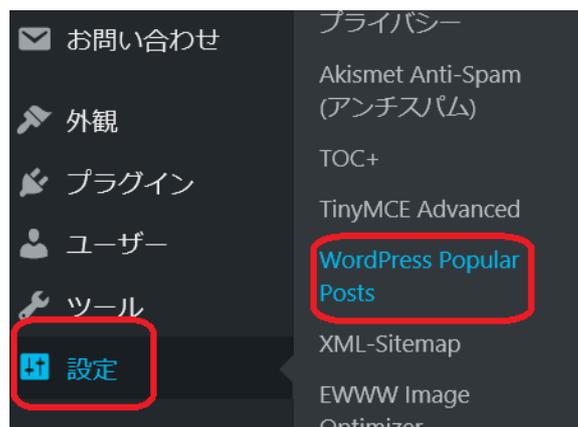
ID を知りたい投稿にマウスを合わせます。



画面の左下に出てくる **URL 中の数字が投稿 ID** となります。

**おまけの設定**

ダッシュボードの画面から【**設定**】にマウスを合わせて【**WordPress Popular Post**】をクリックします。



統計情報という画面になり、そこから【ツール】をクリックします。



ここでは、リンクの開き方を設定できます。

新しいタブまたはウィンドウを選択すると別ウィンドウで開くように設定できますので、お好みで選択されてみてください。



## 【Table of Contents Plus】で記事の目次を作る

### 【Table of Contents Plus】とは？

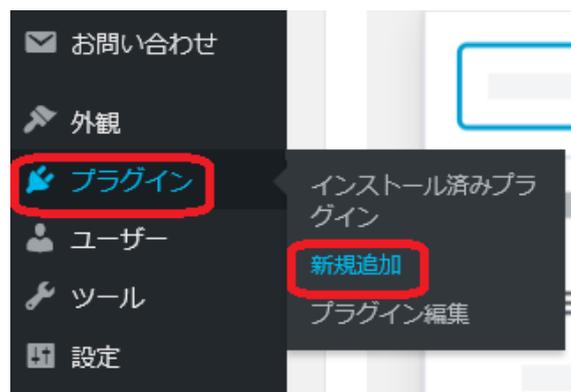
記事につけた見出しを自動的に目次で表示させてくれるプラグインになります。

記事の最初に目次があるのとないのでは、見た目的にも違うのですが、読んでいる人に、すぐにこのページではどんなことが書かれているのかを知ってもらうことができます。

それに読みたいところにジャンプして飛ぶことができるので便利です。

### インストール方法

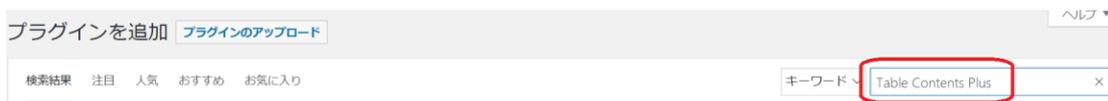
ダッシュボードの画面から【プラグイン】にマウスを合わせて【新規追加】をクリックします。



画面が切り替わりますので【**プラグインの検索**】にプラグイン名（Table of Contents Plus）を入力します。



検索結果に【**Table of Contents Plus**】が表示されます。



【**今すぐインストール**】をクリックします。

**Table of Contents Plus**

目次を自動で生成する、強力でユーザーフレンドリーなプラグインです。全てのページとカテゴリーリストを表示するサイトマップも出力することができます。

作成者: [Michael Tran](#)

★★★★☆ (94)

有効インストール数: 300,000+

最終更新: 3年前

使用中の WordPress バージョンで未検証

[今すぐインストール](#)

[詳細情報](#)

少しすると【**有効化**】というボタンに代わりますのでクリックします。

※有効化をクリックしないと、導入したプラグインは機能しません。

**Table of Contents Plus**

目次を自動で生成する、強力でユーザーフレンドリーなプラグインです。全てのページとカテゴリーリストを表示するサイトマップも出力することができます。

作成者: [Michael Tran](#)

★★★★☆ (94)

有効インストール数: 300,000+

最終更新: 3年前

使用中の WordPress バージョンで未検証

[有効化](#)

[詳細情報](#)

画面が切り替わり【**プラグインを有効化しました**】と表示されれば完了です。

## 設定方法

ダッシュボードの画面から【設定】にマウスを合わせて【TOC+】をクリックします。



設定画面に切り替わりますので、目次の設定をしていきます。



**位置**…目次の表示位置を選択します。初期設定(デフォルト)のままでいいと思います。

初期設定だと最初に見出しの上に出るようにページの最初の方に表示されます。

- ・ 最初の見出しの前 (デフォルト)
- ・ 最初の見出しの後
- ・ 上 (記事タイトルの下)
- ・ 下 (記事の一番下)

**表示条件**…見出しがいくつ以上で目次を表示させるのかを決めます。

自分の使いたい希望数で良いと思いますが、3とか4にして良いかと思います。

**以下のコンテンツタイプを自動挿入**…表示させたい記事の種類を決めます。

目次を表示したい記事の種類を決めるのですが、自分の表示したい種類を選んでください。

- ・ post . . . 通常の投稿記事
- ・ page . . . 固定ページ
- ・ custom\_css . . . カスタム css
- ・ customize\_changeset . . . カスタマイズチェンジセット
- ・ wpcf7\_contact\_form . . . 問い合わせフォーム

見出しテキスト

目次の上にタイトルを表示  
Contents 例: コンテンツ、目次、ページコンテンツ

ユーザーによる目次の表示・非表示を切り替えを許可

テキストを表示 show 例: 表示

テキストを非表示 hide 例: 非表示

最初は目次を非表示

階層表示

番号振り

スムーズ・スクロール効果を有効化  アンカーリンクにジャンプではなくスクロールする

**見出しテキスト**…目次のタイトルをきめます。(タイトルがいない場合はチェックを外します)

表示は【目次】が一般的かと思いますが、【contents】などお好みで良いかと思います。

・目次の表示・非表示の切り替えを選択します…チェックを入れると目次の開閉ができるようになります。

・テキストを表示・非表示のタイトルをきめます…目次を開くときと閉じるときのリンクのタイトルを設定します。初期表示だと【show】と【hide】になっています。

**階層表示**…目次の階層を表示するかをきめます。目次は階層表示させた方が見やすいと思いますので、チェックを入れるのをオススメします。

**番号振り**…目次の項目に番号を自動で振るかを設定します。ここもチェックを入れて、自動で番号を振るようにするのがオススメです。

※見出しに番号が入っていると、目次と見出しで番号が並んでしまうことがありますので注意しましょう。

**スムーズ・スクロール効果を有効化**…目次をクリックすると、クリックした箇所にジャンプできます。そのクリック後の動きが「ジャンプ形式」か「スクロール形式」かを選べます。

どちらがいいのかは、好みになりますので、試して好みで決めてください。



## 外観>>

**横幅**…初期設定は、デフォルトで設定されている「自動」なのですが、使っているテンプレートによっては、デフォルト設定が合わないこともあるので、そのときはユーザー指定などにしてください。

**回り込み**…目次の設置位置を設定します。なし（デフォルト）がオススメです。

- ・なし（デフォルト）
- ・右
- ・左

**文字サイズ**…目次の文字の大きさを設定します。デフォルトの 95%のままで良いです。

**プレゼンテーション**…目次のデザインを選びます。お好きなデザインを選択してください。

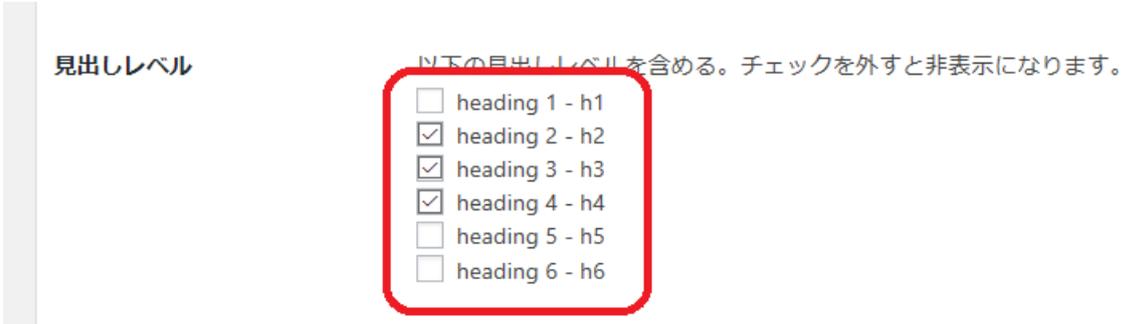
## 上級者向け設定 >>

上級者向け設定でチェックしてほしい必要な項目は、見出しレベルの変更だけです。



上級者向け (表示)

**上級者向け (表示)** をクリックします。下記画面が開きますので、どの見出しに対して目次にするのかを選択してください。おすすめの設定は「h2 と h3 と h4」くらいで良いです。



見出しレベル

以下の見出しレベルを含める。チェックを外すと非表示になります。

- heading 1 - h1
- heading 2 - h2
- heading 3 - h3
- heading 4 - h4
- heading 5 - h5
- heading 6 - h6

目次に表示する見出しタグを選びます。あまりたくさん選ぶと目次が大きくなりすぎるため、あまりおすすめできません。

あとは、テンプレートによって選択項目が変わってくるかと思しますので、試してみてください。

ここまで設定がおわりましたら、【設定更新】をクリックしてください。



設定を更新

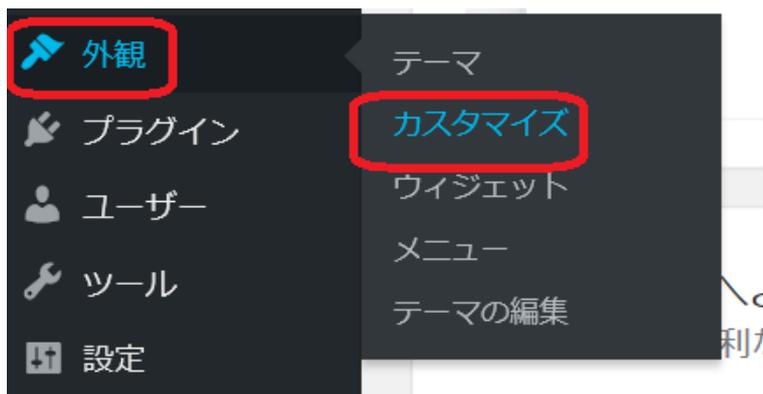
## カスタマイズ方法

目次位置を中央に寄せたいときのカスタマイズ方法になります。

下のコードを追加 CSS へコピーしてください。

```
#toc_container {  
margin-left: auto;  
margin-right: auto;  
}
```

追加 CSS とは、ダッシュボードの画面から【**外観**】にマウスを合わせて【**カスタマイズ**】をクリックします。



左サイドバーにカスタマイズ画面が表示されます。その一番下の追加 CSS になります。



追加 CSS に先ほどのコードを入力してください。追加したら、公開します。



すると表示が**中央寄り**になっています。

さらに、目次を丸角に変更をしたいときのカスタマイズ方法です。

下のコードを追加 CSS に追加すると目次の角が丸角になります。

```
/*TOC+ 角丸*/
#toc_container {
border-radius: 20px;
}
```

追加 CSS に追加するだけで、色々なカスタマイズができます。コピペだけなので、簡単にできます。

## 【Contact Form 7】でお問合せフォームを設置

### 【Contact Form 7】とは？

このプラグインでは、お問合せフォームを簡単に作成することができます。

コンタクトフォームは、サイトへ来られた方がお問合せやメッセージを書き込むためのフォームです。

### インストールする方法

ダッシュボードの画面から【プラグイン】にマウスを合わせて【新規追加】をクリックします。



画面が切り替わるので、右上の【プラグインの検索】にプラグイン名（Contact Form7）を入力します。



検索結果に【Contact Form 7】が表示されますので、【今すぐインストール】をクリックします。



【有効化】というボタンに変わりますので、クリックします。

※有効化をクリックしないと、導入したプラグインは機能しません。



画面が切り替わり、【プラグインを有効化しました】と表示されれば完了です。

### 設定方法

ダッシュボードの画面から【お問合せ】にマウスを合わせて【新規追加】をクリックします。



コンタクトフォームを追加という画面に切り替わります。

コンタクトフォームを追加

ここにタイトルを入力 ←お問い合わせフォームなど

フォーム メール メッセージ その他の設定

フォーム

フォームのテンプレートをここで編集できます。詳しくは[フォームのテンプレートを編集する](#)を参照。

テキスト メールアドレス URL 電話番号 数値 日付 テキストエリア ドロップダウンメニュー チェックボックス ラジオボタン 承認確認 クイズ reCAPTCHA ファイル 送信ボタン

```
<label> お名前 (必須)
[ text* your-name ] </label>
<label> メールアドレス (必須)
[ email* your-email ] </label>
<label> 題名
[ text your-subject ] </label>
<label> メッセージ本文
[ textarea your-message ] </label>
[ submit "送信" ]
```

お問合せのときに  
入力してもらいたい項目

【ここにタイトルを入力】と表示されているところに、お問合せフォームの名前を入力します。

(例：お問い合わせフォーム・コンタクトフォームなど)

次に下の【フォーム】という枠内にお問合せフォームの項目を選びます。

デフォルトは下記内容が入っています。

特に問題なければこのままで構いませんが、編集は可能です。

- ・お名前
- ・メールアドレス
- ・題名
- ・メッセージ本文

次にフォームタブの隣にあるメールタブの設定です。

The screenshot shows the 'Email' settings page for a contact form. At the top, there is a section titled 'ここにタイトルを入力' (Enter title here). Below that, there are tabs for 'フォーム' (Form), 'メール' (Email), 'メッセージ' (Message), and 'その他の設定' (Other settings). The 'メール' tab is selected and highlighted with a red box. The 'メール' section contains the following fields and options:

- 送信先** (To): A text input field with a placeholder 'yuka@yuka001.com'.
- 送信元** (From): A dropdown menu with '[your-name]' selected and a placeholder 'yuka@yuka001.com'.
- 題名** (Subject): A text input field with the placeholder 'ネットで副業を始める☆ "[your-subject]"'.
- 追加ヘッダー** (Additional headers): A text input field with 'Reply-To: [your-email]'.
- メッセージ本文** (Message body): A text area with the following content:

```
差出人: [your-name] <[your-email]>
題名: [your-subject]

メッセージ本文:
[your-message]

--
このメールは ネットで副業を始める☆ (https://yuka001.com) のお問い合わせフォームから送信されました。
```

【メール】をクリックすると、上図の画面になります。お問合せがあったときのメール通知設定となります。

【送信先】にお問合せを受けるメールアドレスを設定するようにします。

※Contact Form 7 は送信されたメッセージをどこにも保存しません。このとき、もし設定メールアドレスが間違っていると大事なメッセージを受け取ることができず見落としてしまいます。

メールアドレスの間違いがないように設定しましょう。

【送信元】というのは、文章が送信された場所なので、ご自身のサイトになります。

【送信先】以外はそのままでいいと思います。

すべて設定ができましたら、【保存】をクリックします。

The screenshot shows the 'ステータス' (Status) section of the WordPress settings page. It features a blue button labeled '保存' (Save), which is highlighted with a red box.

すると下図のような画面に切り替わりますので、赤枠部分をコピーします。

このショートコードをコピーして、投稿、固定ページ、またはテキストウィジェットの内容にペーストしてください

```
[contact-form-7 id="410" title="お問合せフォーム2"]
```

これで、お問合せフォームが出来上がりました。

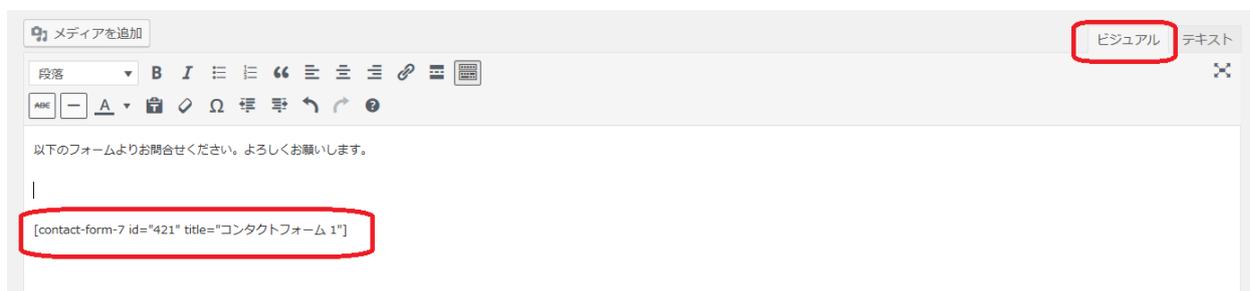
## 設置方法

お問合せフォームは、固定ページに設置して、グローバルメニューやサイドバーにリンクを貼るといのが多いです。固定ページに設置してみましょう。

ダッシュボードの画面から固定ページをクリックしてしてください。

固定ページの編集画面に切り替わりますので【新規追加】をクリックします。

必ず【ビジュアルモード】になっていることを確認してください。



設定したときにコピーしておいたコードを貼り付けます。

これでお問合せフォームが設置できました。

Contact Form 7 は送信されたメッセージをどこにも保存していません。

メールアドレスの間違いがないかどうか確認するためにも、設置されたら、一度ご自分でお問合せフォームからメッセージを送信してみてください。

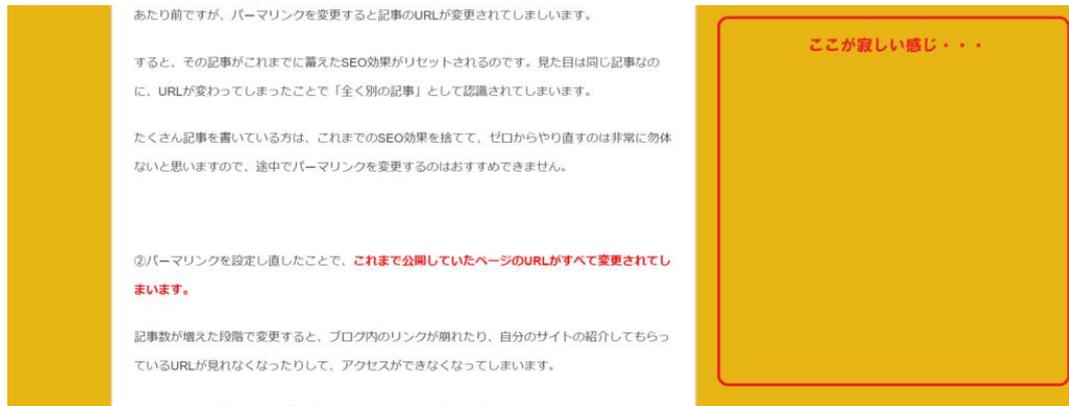
## 【Q2W3 Fixed Widget】でサイドバーを追尾させる

WordPress ブログで記事をスクロールするときに、サイドバーがついてくるようにするためのプラグインについてです。

【Q2W3 Fixed Widget】というプラグインがあるのですが、ぜひ導入してほしいオススメのプラグインになりますので、順番に説明していきます。

## サイドバーを追尾するってなに？

長い記事を読んでいるとき、下へスクロール（移動）するうちに、サイドバーが途中で無くなってしまふことってあると思います。



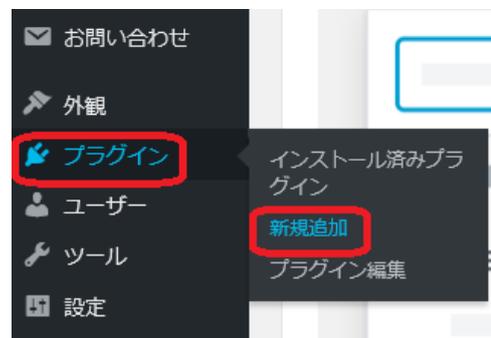
その空白は、【Q2W3 Fixed Widget】というプラグインを導入することで、解決するのです。

【Q2W3 Fixed Widget】のプラグインを追加することで、サイドバーが追従してくるようになります。

長い記事を、しっかり読んでくれた方に、特に見てもらいたいことを設置したサイドバーがあることで、クリックしてもらうなどのアクションがしてもらいやすくなります。

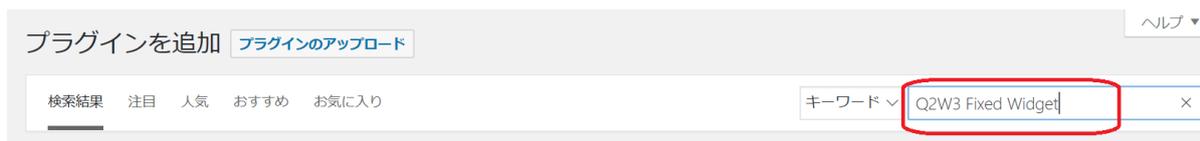
## インストールする方法

ダッシュボードの画面から【プラグイン】にマウスを合わせて【新規追加】をクリックします。



画面が切り替わるので、右上の【プラグインの検索】にプラグイン名（Q2W3 Fixed Widget）を入力します。

検索結果に【Q2W3 Fixed Widget】が表示されます。



【今すぐインストール】をクリックします。



画面が切り替わりますので【有効化】をクリックします。

※有効化をクリックしないと、導入したプラグインは機能しません。

画面が切り替わり【プラグインを有効化しました】と表示されれば完了です。

インストールと有効化ができましたので、設定していきましょう。

### 設定方法

ダッシュボードの画面から【外観】にマウスを合わせて【ウィジェット】をクリックします。



テンプレートによって画面は異なりますが下記のような画面に切り替わります。



ウィジェットの画面が開くと右に【サブコンテンツ】とか上図のような画面が表示されます。

サイドバーに設置している一番下の項目を選択します。



【Fixed widget】というのが左下にありますので、チェックを入れて保存をします。

すると、サイドバーの一番下の項目が、スクロールとともに追尾するように設定されました。

**【Fixed widget】** の設定

ダッシュボードの画面から**【外観】**にマウスを合わせて**【Fixed widget の設定】**をクリックします。

設定画面が開きますので、設定したい項目を入力します。

**【一般設定】**は下図の2か所を設定します。

Fixed Widget 設定

一般設定

上マージン: 10 px

下マージン: 250 px

停止 ID:  ここで html タグ ID を設定してください。その html 要素の位置は下マージンの値で決定します。

更新間隔: 1500 ミリ秒 / MutationObserver API をサポートしていないブラウザとの互換性のためにのみ使用します。0を指定するとこの機能が無効になります。

幅を無効化: 1000 px / モバイル端末上でプラグインを無効にするには、このオプションを使用します。ブラウザの画面幅が指定された値より小さい場合、プラグインは無効になります。

高さを無効化: 0 px / 幅の無効オプションと同じような動作をします。

**下マージン**…ここを設定していないとフッターに固定しているウィジェットがあるときは、そこにかぶってしまうので、フッターにかぶらないようにご自身のサイトを見ながら調整してみてください。

**幅を無効化**…スマホなどで見たときにスクロールをしないようにできる設定になります。

『1000px』で設定したらいいかと思います。

この2つの設定が終わったら下までスクロールして、**【変更を保存】**で完了です。

キャッシュプラグインのユーザーへの注意。オプションの変更後にキャッシュをクリアすることを忘れないでください！

変更を保存

**補足**

この**【Fixed widget】**は、一番下の項目じゃなくても、どれにでも設定が可能です。

見て欲しい項目があれば、その項目のウィジェットを選択し、**【Fixed widget】**にチェックをすれば良いだけです。

ウィジェットの項目の途中を選択すると、その項目が下まで固定して追尾してしまうので、固定された下のウィジェットは隠れて見えなくなってしまうので、その点ご注意ください。

オススメとしては、ウィジェットの下2つが良いかと思います。

## 【PS Auto Sitemap】でブログ内のサイトマップ(目次)を作る

### 【PS Auto Sitemap】とは？

WordPress 内のサイトマップ(目次)を自動で作ってくれるプラグインです。

サイトマップというのは、ブログ内の固定ページや投稿記事の一覧を目次としてまとめたものです。

サイトマップはカテゴリー毎に細かく分けて表示されるので、**サイトの訪問者が目的の記事を探しやすい**という利点があります。

### インストール方法

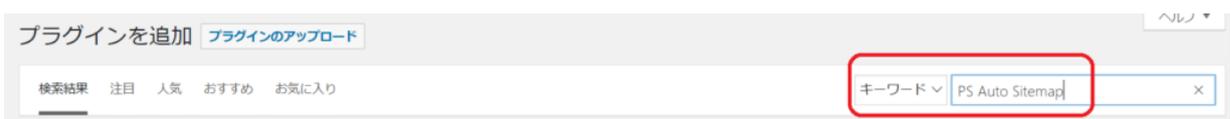
ダッシュボード画面から【プラグイン】にマウスを合わせて【新規追加】をクリックします。



【プラグインを追加】の画面に切り替わります。



右側のプラグインの検索に**プラグイン名 (PS Auto Sitemap)**を入力します。



プラグインが表示されますので、下図と同じプラグインの【今すぐインストール】をクリックします。



少し待つと【有効化】に変わりますので、【有効化】をクリックします。



下図のように【有効化しました】となっていればオッケーです。

※プラグインはインストールしても有効化していないと機能しません。



### 設定方法

ダッシュボードの画面から【設定】にマウスを合わせて【PS Auto Sitemap】をクリックします。



【PS Auto Sitemap】の設定画面に切り替わります。



- ・ **サイトマップを表示する記事…記事 ID** を入力します。

(記事の ID は、下に調べ方の説明しています。)

- ・ **先に出カするリスト…** サイトマップの表示を投稿が先か固定が先かの選択です。

(もし固定ページは表示しないときは、上の **【固定ページリストの出カ】** のチェックを外します。)

スクロールして次あ下図のところを設定します。

除外カテゴリ

除外記事

スタイルの変更

キューブ

キャッシュの使用  使用する

変更を保存

ご利用方法

1. サイトマップを表示させたい記事を作成します。
2. 作成した記事のcontent部分に、HTMLモードで以下のコードを入力します。  
`<!-- SITEMAP CONTENT REPLACE POINT -->`
3. 記事編集画面で記事ID (アドレスバーの &post=nn) を確認し、『サイトマップを表示する記事』権に指定します。

- ・ **除外カテゴリ/除外記事…** サイトマップに表示させたくないカテゴリ・記事があれば、その記事 ID を入力します。

- ・ **スタイルの変更…** サイトマップのスタイルを決めます。自分のサイトに合ったものを色々試して決めてみてください。(これはいつでも変更可能です。)

- ・ すべての設定が済んだら、**【変更を保存】** をクリックします。

## サイトマップのページ作り

サイトマップを設置するためのページを作成します。

(一般的には固定ページにサイトマップというページを作成されている方が多いです)

設定画面の **【設定を保存】** の下に、ご利用方法があります。下図の赤枠の部分をコピーしておきます。

ご利用方法

1. サイトマップを表示させたい記事を作成します。
2. 作成した記事のcontent部分に、HTMLモードで以下のコードを入力します。  
`<!-- SITEMAP CONTENT REPLACE POINT -->`
3. 記事編集画面で記事ID (アドレスバーの &post=nn) を確認し、『サイトマップを表示する記事』権に指定します。

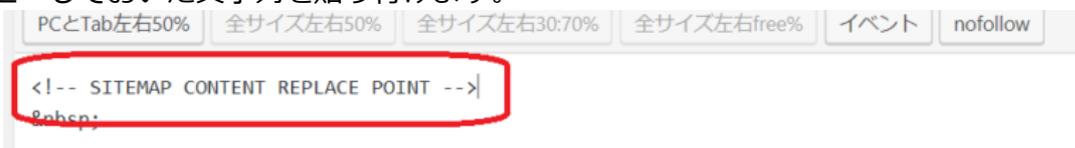
ダッシュボードの画面から【固定ページ】マウスを合わせて【新規追加】をクリックします。



新規固定ページの画面が開きましたらページの【タイトル】（ここではサイトマップとしています）を決めます。【ビジュアルモード】から【テキストモード】へ切り替えます。



先ほどコピーしておいた文字列を貼り付けます。



貼り付けたら記事を【更新】します。

### 記事 ID を調べる方法

記事 ID を調べるには、作成した固定ページのタイトルにマウスを合わせます。（クリックはしません）

下図のように左下に長い文字列が表示されますので、そこで表示されている数字が記事 ID となります。



ここで調べた記事 ID を【PS Auto Sitemap】設定画面の【サイトマップを表示する記事】に入力します。

【変更を保存】をクリックします。これでサイトマップの設定が完了します。

### サイトマップの確認

下図は実際に設定してみたサイトマップです。【PS Auto Sitemap】設定画面のスタイルを【キューブ】にしたらこれと同じになります。

## サイトマップ

- 📦 [初心者のパート主婦がアフィリエイトで副業する方法！](#)
- 📦 [おすすめツール・教材](#)
- 📦 [お問合せ](#)
- 📦 [ゆかのプロフィール](#)
- 📦 [サイトマップ](#)
- 📦 [プライバシーポリシー](#)
- 📦 [無料メールマガジン](#)
- 📦 [初心者](#)
  - [WordPressのテーマに迷っている方、必見！！](#)
  - [アフィリエイトで何を売れば良いのかわからない方へ](#)
  - [ネットビジネス初心者の方へ](#)
  - [サーバーにドメインが追加できない?! そんな時の対処法](#)
  - [パソコン一台で副業をするのに必要な外付けHDD](#)
  - [なぜ今、副業を始めるべきなのか?](#)
  - [これからサイトを作る方に覚えておいて欲しいこと](#)

## 【Google XML Sitemaps】で検索エンジン向けのサイトマップを作る

### 【Google XML Sitemaps】とは？

【**Google XML Sitemaps**】とは… WordPress サイトの **サイトマップ** を自動で作成・通知ためのプラグインです。

#### プラグインを導入するだけでこんな機能があります。

- ・ Google の規定に準拠したサイトマップを自動で生成してくれます。
- ・ サイトマップを生成後、自動で検索エンジンに通知します。
- ・ サイトマップに含める、あるいは除外するコンテンツの指定をすることができます。
- ・ サイトやコンテンツの更新頻度・優先順位の指定をできます。
- ・ コードを書く必要はなく、選択式なので簡単です。

一度設定するだけで良いので、ぜひとも入れておきたいプラグインですね。

### インストール方法

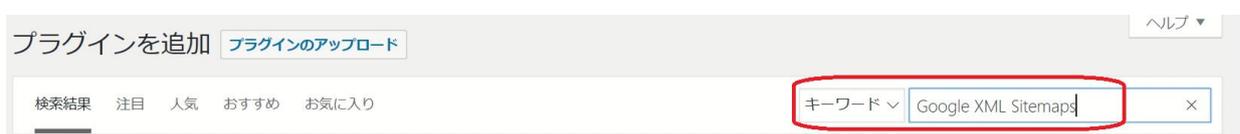
ダッシュボードの画面から **【プラグイン】** にマウスを合わせて **【新規追加】** をクリックします。



画面が切り替わるので、右上の **【プラグインの検索】** にプラグイン名 (Google XML Sitemaps) を入力します。



検索結果に **【Google XML Sitemaps】** が表示されます。



【今すぐインストール】をクリックします。



画面が切り替わりますので【有効化】をクリックします。

※有効化をクリックしないと、導入したプラグインは機能しません。



画面が切り替わり、【プラグインを有効化しました】と表示されれば完了です。

### 基本設定

ダッシュボードの画面から【設定】にマウスを合わせて【XML-Sitemap】をクリックします。



設定画面に切り替わりますので、順番に設定していきます。

『**基本的な設定**』…上の3つにチェックを入れます。

一番目は Google、二番目は、Bing、三番目は、**サイトマップの URL を仮想 robots.txt ファイルに追加** 検索エンジンに対して、**正確にサイトマップを伝えることができます。**

基本的な設定

通知を更新: [さらに詳しく](#)

- Notify Google about updates of your site  
No registration required, but you can join the [Google Webmaster Tools](#) to check crawling statistics.
- Notify Bing (formerly MSN Live Search) about updates of your site  
No registration required, but you can join the [Bing Webmaster Tools](#) to check crawling statistics.
- サイトマップの URL を仮想 robots.txt ファイルに追加  
The virtual robots.txt generated by WordPress is used. A real robots.txt file must NOT exist in the site directory!

高度な設定: [さらに詳しく](#)

メモリの最大値を以下に増加:  (例: "4M"、"16M")

実行時間制限を以下に増加:  (秒で指定 (例: "60" など、または無制限の場合は "0"))

- Try to automatically compress the sitemap if the requesting client supports it.  
Disable this option if you get garbled content or encoding errors in your sitemap.

スクロールして次の設定にいきます。

『**投稿の優先順位**』…【**優先順位を自動的に計算しないを選択する**】と、このあとの設定の優先順位の定義が反映されます。

投稿の優先順位

投稿の優先順位の計算方法を選択してください:

- 優先順位を自動的に計算しない  
すべての投稿が "優先順位" で定義されたのと同じ優先度を持つようになります。
- コメント数  
コメント数から投稿の優先順位を計算する
- 平均コメント数  
平均コメント数を使って優先順位を計算する

『**Sitemap コンテンツ**』では、**サイトマップに入れるコンテンツの登録ができます。**

検索エンジンに通知する重要なページの指定をしましょう。

一般的には、**ホームページ・投稿・固定ページ・カテゴリー**になるかと思います。

Sitemap コンテンツ

WordPress標準コンテンツ:

- ホームページ
- 投稿 (個別記事) を含める
- 固定ページを含める
- カテゴリーページを含める
- アーカイブページを含める
- 投稿者ページを含める
- タグページを含める

詳細なオプション:

- 最終更新時刻を含める。  
これは非常に推奨であり、検索エンジンがあなたのコンテンツが変更された時間を知る助けになります。このオプションはすべてのサイトマップエントリに影響しません。

『**Excluded Items**』…サイトマップから除外するコンテンツを指定します。特にないときは、不要です。

**Excluded Items**

含めないカテゴリ:

SEO  
 WordPress  
 アクセス解析  
 アフィリエイト  
 コピーライティング

投稿 (個別記事) を含めない:

以下の投稿または固定ページを含めない: カンマ区切りの ID 一覧

メモ: 子カテゴリは自動的に除外されません。

『**Change Frequencies**』…検索エンジンに通知するサイトマップの投稿頻度を設定します。

コンテンツごとに【常時・毎時・毎日・毎週・毎月・毎年・更新なし】から設定します。

コンテンツの投稿頻度に合わせるのがオススメです。

**Change Frequencies**

メモ: このタグの値は絶対的な命令ではなくヒントとみなされます。検索エンジンのクローラはこの設定を考慮に入れますが、"1時間おき"の設定にしてもその頻度でクローラしないかもしれないし、"年に1度"の設定にしてもより頻繁にクローラされるかもしれません。また "更新なし" に設定されたページも、予想外の変更に対応するため、おそらく定期的にクローラが行われるでしょう。

毎日  ホームページ

毎日  投稿 (個別記事)

毎週  固定ページ

毎週  カテゴリ別

毎日  今月のアーカイブ (たいていは"ホームページ"と同じでしょう)

毎年  古いアーカイブ (古い投稿を編集したときにのみ変更されます)

毎週  タグページ

毎週  投稿者ページ

『**優先順位の設定 (priority)**』…検索エンジンに通知するときに、コンテンツの重要度を【1.0 (重要) から 0.0 (重要ではない)】から 0.1 刻みで細かく設定できます。

**優先順位の設定 (priority)**

1.0  ホームページ

0.6  投稿 (個別記事) ("基本的な設定"で自動計算に設定していない場合に有効)

0.2  投稿優先度の最小値 ("基本的な設定"で自動計算に設定している場合に有効)

0.6  固定ページ

0.3  カテゴリ別

0.3  アーカイブ別

0.3  タグページ

0.0  投稿者ページ

すべての設定が終わりましたら、**【設定を更新】** します。これで設定まで終わりました。

ここで作成したサイトマップは、**【Google Search Console (グーグルサーチコンソール)】** にサイトを登録し、サイトマップを送信して初めて機能します。

## 【Google Search Console (サーチコンソール)】 にサイトマップを登録する

【Google Search Console (サーチコンソール)】 とは？

【Google Search Console (サーチコンソール)】 とは、Google が無料で提供している WEB サイト管理者用のツールになります。

サーチコンソールにあなたのサイトを登録し、前回の記事で作成した**【Google XML Sitemaps】**で作成したサイトマップを送信します。

そうすることにより、Google の検索エンジンに効率よくサイトを認識してもらい、SEO 効果を上げることが出来るのです。

### 登録方法

下のリンクをクリックしてから登録していきます。

[Google Search Console \(サーチコンソール\) サイト](#)

画面が切り替わりましたら **【SERCH CONSOLE】** をクリックします。

ウェブで検索される  
サイトには、秘訣が  
あります。

Google Search Console を使用して、ウェブ検索での自分のサイトの掲載順位をトラッキングし、さまざまなウェブマスター向けリソースをご覧ください。

SEARCH CONSOLE →

Google のログイン画面が出ましたら、お持ちの Google アカウントでログインしましょう。

(既にログイン出来ている場合は、この画面は出ないこともあります)

サイト URL に登録したいサイトの URL を入力し【**プロパティを追加**】をクリックします。



下図のような画面に切り替わります。



赤枠の HTML ファイルをダウンロードします。

ダウンロードすると下に保存が表示されるので、保存します。



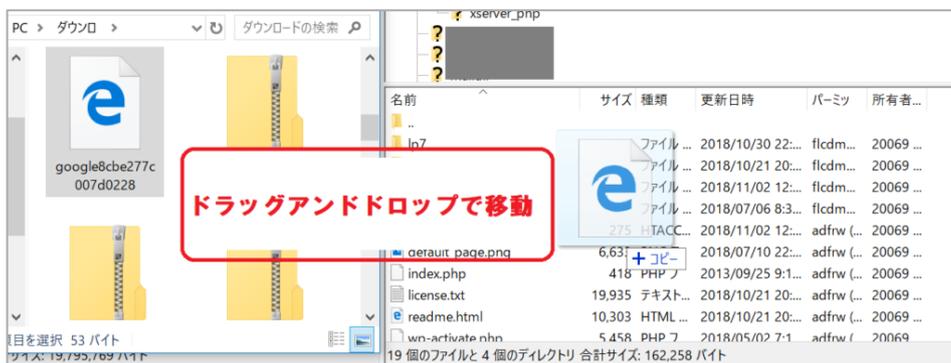
## FTP にファイル追加

一旦、サーチコンソールの画面は置いておき、FTP ソフトを開きましょう。（ここでは FileZilla を使っています。）サーバーに接続します。

下記画像のようにリモートサイトの横の文字列が **【/あなたのブログのドメイン名/public\_html】** になっていることを確認します。



先程保存した HTML 確認ファイルをドラッグ&ドロップします。



## サーチコンソール所有権確認

サーチコンソールの画面に戻ります。下記画面の **【確認】** をクリックします。



画面が切り替わり【**所有権を確認しました**】となっていたら、うまくいった証拠です。



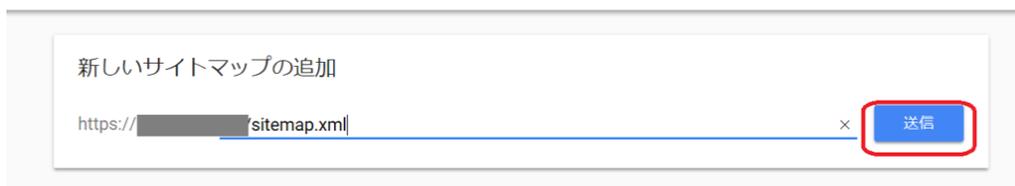
【**プロパティに移動**】をクリックします。

### サイトマップの追加

【**Google Search Console (サーチコンソール)**】の画面へと切り替わりますので、下図のように【**サイトマップ**】をクリックしてください。



まだサイトマップの送信が終わっていない状態なので、赤枠の中にサイトマップが入っていません。



サイトマップの追加をしますので、【**sitemap.xml**】と入力し【**送信**】をクリックします。

下図のようにステータスが成功しましたとなっていれば、サイトマップの送信ができました。



これで設定が完了しました。

以上で【Wordpress マニュアル・カスタマイズ編】は終了させていただきます。

どこかマニュアル通りにやってもうまくいかないとか、表示画面が違うという場合は、お気軽にわたしにお問い合わせくださいね。

⇒ [ゆかへお問い合わせする](#)

このマニュアルでも紹介してきたわたしが使っているサーバーとかドメインとかのツールを紹介しています。

⇒ [【ゆかのブログ】 オススメ教材・ツール一覧](#)

それでは、最後までお読みいただきありがとうございました。

あなたのブログ作りに活用していただければ幸いです(#^^#)

作者：ゆか (yu\_ka)

運営ブログ：<https://yuka001.com/>

お問い合わせフォーム：<https://yuka001.com/contact/>

メルマガ登録：<https://my120p.com/p/r/NEPJVhUI>

Twitter：[https://twitter.com/yu\\_ka2018](https://twitter.com/yu_ka2018)

Facebook：<https://www.facebook.com/profile.php?id=100026590870828>